

6月7日告示、16日投票

沖縄県議選

予定候補者紹介

困窮学生支援へ 窓口実現

日本共産党

「沖縄県民の平和とくらし、人権を守るため、玉城デニー知事を支えて全力で頑張ります」。街頭での訴えに熱がこもります。

初当選から4年、青年・学生の声届け、誰もが自

沖繩市区(定数5)

しまぶく恵祐 予定候補 (37) 現



【プロフィール】 1986年生まれ。党県委員。「自衛隊の弾薬庫等建設に反対する沖縄市民の会」共同代表

を求め、学生相談窓口の設置につなげました。

岸田政権の大軍拡で弾薬などの補給拠点の整備が狙われる沖縄市。自衛隊弾薬庫建設に反対する市民団体の共同代表として、沖縄を戦場にさせないたたかいは先頭に立ちます。

選挙は定数5を有力6人が争う大激戦の見通し。"デニー県政いじめ"を続ける野党の自民・公明が現在3議席を占め、与党多数のためには、しまぶく氏再選が欠かせません。

沖縄市は米軍嘉手納基地を抱える基地の街です。米兵犯罪などから県民の人権を守る活動に尽くしてきた新垣勉弁護士は「嘉陽宗儀さん(前県議)から引き継ぐ日本共産党の議席が中部

からなくなればどうなるか。絶対に失うわけにはいかない」と語ります。

元自衛官で、同じく隊員だった双子の兄が訓練中の暴行で命を奪われました。兄の尊厳を取り戻す裁判を親身に支えてくれたのが共産党の地域支部の人たちでした。「今度は私が苦しんでいる人の支えになりたい」と入党した経験を持ちます。

「軍隊と基地があるがゆえに県民の命とくらし、人権が脅かされている現状を容認することはできない。基地のない平和で誇りある沖縄を何としても」(しんぶん赤旗 2024年3月22日より)